

◇熊谷隆一君

○議長（澁谷俊二君） 次に、15番、熊谷隆一君の一般質問を許可いたします。熊谷隆一君、登壇願います。

（15番 熊谷隆一君 登壇）

○15番（熊谷隆一君） 私は、SDGsへの町の取り組みに対する考えについてお伺いします。

SDGs、この言葉はまだ社会的にもなじみが少ないと感じていますが、最近では農業関係の新聞や農業関係の情報雑誌などの記事で紹介されることが多くなったと感じています。

2015年9月にニューヨークの国連総会で採択されたこのSDGsは「持続可能な開発目標」ということのとおりであります。日本政府でもこれを推進していくということで、2016年5月に持続可能な開発目標推進本部が設置され、内閣総理大臣が本部長、内閣官房長官と外務大臣が副本部長を務め、全閣僚で構成される組織のようであります。

具体的な推進策として、ジャパンSDGsアワードを創設し、先駆的なすぐれた取り組みをしている自治体や企業などを公募し、優秀な取り組みに対しては表彰もしているようですが、全国的な取り組み事例はまだ少ない状況であると考えております。

美郷町における町民の生活スタイルや、有機肥料や町内施設で製造される堆肥を使った米の栽培、湧水などの環境保全活動、確認をすればそのままSDGsの目標に含まれる事業など多いのではないかと私は感じております。町のSDGsへの取り組みについてお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） ただいまのご質問にお答えいたします。

SDGsとは、2015年9月の国連「持続可能な開発サミット」において採択された行動計画で、先進国を含む国際社会全体の持続可能な開発目標です。全ての関係者の役割を重視し、誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包括性のある社会の実現を目指して、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むとし、17のゴールと169のターゲットで構成される2030年までの国際目標となっております。

国においては、2016年5月にSDGs推進本部を設置し、同年12月にSDGs実施方針を策定、その中で地方公共団体の役割の重要性を指摘しております。そのため、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略において地方公共団体におけるSDGsの取り組みを位置づけるなど積極的に推進しております。

県を初め今年度中に第2期地方版総合戦略を策定する多くの市町村は、国の第2期まち・ひ

と・しごと創生総合戦略を受け、SDGsの取り組みを位置づけた内容を検討しており、本町でも現在策定中の第2期美郷版総合戦略においてSDGsの17のゴールを施策と関連づけて取り組むこととしております。

具体的には、基本目標にある施策の中で、農業の振興においてはSDGsの17のゴールの中で「陸の豊かさを守ろう」というゴールを含めて13のゴールに関係があるほか、観光の振興においては「住み続けられるまちづくりを」というゴールを含めて5のゴールに関係するところです。また、子育て環境の充実においては「全ての人に健康と福祉を」というゴールを含めて8のゴールに関係するとともに、子供の教育の充実においては「質の高い教育をみんなに」というゴールを含めて8のゴールに関係する内容となっております。

したがって、第2期美郷版総合戦略で取り組む方向性はSDGsの基本理念や目標と一部重なるものであり、第2期美郷版総合戦略で設定する目標達成に向けた各般の施策推進が結果的にSDGsの目標達成の一部につながっていくものです。

なお、財政措置のある自治体SDGsモデル事業は、SDGs未来都市に選定されなければならないため、そのためには内閣府に提案書を提出し、選定を受けなければいけません。現在のところ、美郷町においては当該事業における財政措置が必要な取り組みが見当たらないため、急ぎSDGs未来都市の選定を受ける状況にはないと認識しております。まずは第2期美郷版総合戦略をしっかりと策定し、着実に推進することでSDGsの推進に寄与してまいりたいと存じます。

なお、SDGsについては、引き続き認識を深めるとともに、意識を高めていくよう努めてまいりたいと存じます。以上です。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、15番、熊谷隆一君の一般質問を終わります。